

Nature-based Design

会場は横浜市の旭区・瀬谷区に位置する旧上瀬谷通信施設であり、2015年に米軍から返還された約242haの広大な土地で、そのうち約100haが博覧会区域となります。土地利用が制限されてきたことから、農地や緩やかな起伏の草地などの自然環境が広がり、南北に流れる相沢川、和泉川の源流部、谷戸地形等の貴重な自然資本が残っています。
GREEN×EXPO 2027では、この計画地の環境を読み解き、かつて武蔵国と相模国の国境となった尾根地形や、南北方向の水の流れ、風の動き、残された樹林等の自然資本を活かした会場づくり（Nature-based Design）を進めます。この上で5つのビレッジと3つのゾーンを展開され、日本の植物資源と文化を活かした園芸博覧会が繰り広げられます。



GREEN×EXPO 2027の会場では、メインゲートを入ると、まずUrban GX Villageで未来のGXを体感することができます。
国際展ゾーンでは世界各国の園芸文化に触れ、Farm & Food Villageではこれからの食と農を、花と緑の中で体験できます。
さらに、テーマ館で植物の新たな世界に出会い、園芸文化館で日本の園芸文化の奥深さを知ることができます。その奥には、日本各地の庭園や豊かな緑のなかに広がる花いっぱい風景を実感できます。



GXが実現する未来都市の風景を提案します。カーボンニュートラルを中心に、自然の力を社会課題解決に活かす技術（NbS）を世界に発信します。

GX分野 | 暮らし／まちづくり・建築・交通／技術・産業／再生可能エネルギー



土地に寄り添いながら多様な生業を生み出してきた日本の叡智を継承。自然と共生活しつつ、新たな産業を生み出す未来の田園風景を提案します。

GX分野 | 暮らし／健康・食と農／生態系・自然環境

5つのVillage

GREEN×EXPO 2027独自の取り組みとなるテーマ共創事業としてGXを実現する5つの「Village」を設けます。主催者と参加者がテーマを共有しながら、「幸せを創る明日の風景」の創出に取り組みます。

パートナーの皆様と共に創る GX Prototyping

花と緑に彩られた幸せの風景と
自然の力を活かした明日の風景の実体化



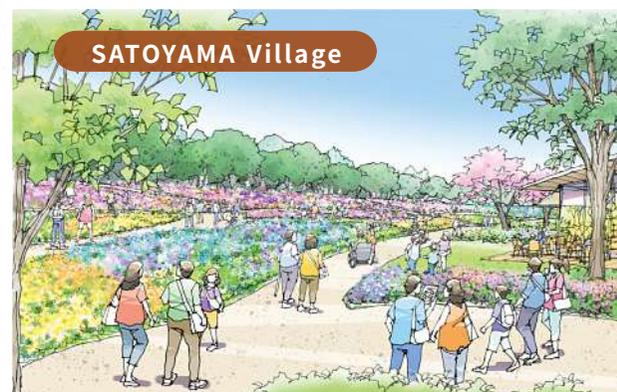
次代を担う子どもたちが自然と親しみ、楽しみながら学ぶことができるコンテンツを集積、誰もが笑顔になれる風景を提案します。

GX分野 | 暮らし



食と農が連携し、共存する「さと」の風景を提案します。心身が満たされ、健康であること。その豊かさを実感できるコンテンツを集積します。

GX分野 | 健康・食と農



市民の森と美しい花を背景に、生物多様性や都市と農村の連携をテーマにした学びのプログラムを提供する、新たな里山の風景を提案します。

GX分野 | 暮らし／生態系・自然環境



3つのゾーン

GREEN×EXPO 2027の骨格となる3つのゾーンを設けます。

- 国際展ゾーン**
世界各国や国際的な花き園芸・造園企業による出展。世界の園芸文化、食農文化の多様性に出会う国際色豊かなゾーンです。
- シンボルゾーン**
GREEN×EXPO 2027のテーマを発信するテーマ館のほか、花き品種、ガーデンデザインなどの多彩なコンペティションが開催される屋内出展施設を設けます。
- 日本ゾーン**
日本政府による庭園及び屋内出展のほか、主催者による園芸文化展示、自治体等による出展が集結。日本の園芸文化の奥行きに触れることができます。

*2023年9月現在の予定。今後の調整状況により変更になる可能性があります。